

COVID-19 流行により生じた、本邦の炎症性腸疾患患者が感じた不安や行動変容に関するアンケート調査（J-DESIRE）

研究分担者 氏名 仲瀬裕志 所属先 札幌医科大学医学部 消化器内科学講座 役職 教授

研究要旨：J-DESIRE の結果から、コロナ禍において炎症性腸疾患（IBD）患者は中程度の不安を抱いていたことがわかった。SARS-CoV-2 感染患者数増加 1 ヶ月後に不安スコアの増加傾向が認められた。IBD 患者は、自分の考え、インターネット、テレビ、主治医を情報源として、IBD そのものとそれに対応する薬による感染リスクを評価していた。これらの結果から、パンデミック状況下において、感染症などに関する対応情報を患者さんに正確に提供することの重要性が示唆された。また、アンケート調査に回答した 32% の患者がかかりつけ医の必要性を強く感じていた。

共同研究者

松本主之（岩手医科大学内科学講座消化器内科
消化管分野）

松浦 稔（杏林大学消化器内科学講座）

飯島英樹（大阪警察病院）

松岡克善（東邦大学医療センター佐倉病院消化器
内科）

大宮直木（藤田医科大学先端光学診療学）

石原俊治（島根大学医学部内科学講座（内科学第
二））

平井郁仁（福岡大学医学部消化器内科）

久松理一（杏林大学消化器内科学講座）

対象患者：札幌医科大学附属病院消化器内科
および共同研究に通院中の IBD 患者：方法
本研究に対して同意を得られた患者に対し、
質問紙法（アンケート）によるデータ収集と
分析を行う。主要評価項目：COVID-19 流行
により IBD 患者が感じている不安。副次評価
項目：COVID-19 流行による IBD 患者の受診
行動の変化の有無、治療薬の変更などとの関
係。

（倫理面への配慮）

アンケート調査ではあるが、研究の結果を公
表する際には、被験者の情報を含まないよう
にし、研究の目的以外に、研究で得られた被
験者のデータを使用しない。また、連結可能
匿名化においては、対応表を個人情報管理者
の下で厳重に保管し、外部環境と接触のない
コンピューターでその情報を管理する。

A. 研究目的

Japan COVID-19 Survey and Questionnaire
in inflammatory bowel disease (J-DESIRE)：
炎症性腸疾患 (IBD) 患者の COVID-19 に対する
不安や行動変容に関する大規模なアンケート
調査を行うことにより、コロナ禍において
IBD 患者がいま求めている情報や抱えている
問題点を明らかにすること。

B. 研究方法

J-DESIRE (UMIN 試験 ID : UMIN000041191) :

C. 研究結果

2020 年 3 月から 2021 年 6 月までに 30 病院
と 1 診療所を受診した 16 歳以上の IBD 患者
さんからのアンケート結果 3032 枚を分析した。
参加者の疾患関連不安スコアは 10 点満点で

平均 5.1±2.5 点であった。人口あたりの感染者数が増加した 1 ヶ月後にこの不安スコアが増加する傾向が認められた。不安要因の上位 3 つは、通院時の COVID-19 感染リスク、IBD による SARS-CoV-2 感染、IBD 治療薬による感染であった。不安に関連する要因は、性別（女性）、主婦であること、通院時間、交通手段（電車）、免疫抑制剤の使用、栄養療法であった。ほとんどの患者は、定期的な通院と服薬を続け、かかりつけ医の必要性を感じ、主治医やテレビ、インターネットのニュースから COVID-19 に関する指導や情報を求めている。

D. 考察

J-DESIRE の結果から、コロナ禍において IBD 患者さんは中程度の不安を抱いていたことがわかった。SARS-CoV-2 感染患者数増加 1 ヶ月後に不安スコアの増加傾向が認められた。さらに、患者は、自分の考え、インターネット、テレビ、主治医を情報源として、IBD そのものとそれに対応する薬による感染リスクを評価していた。これらの結果から、パンデミック状況下において、感染症などに関する対応情報を患者さんに正確に提供することの重要性が示唆された。アンケート調査に回答した 32%の患者がかかりつけ医の必要性を強く感じていた。今後、我々は IBD 患者の診療ができるかかりつけ医の育成に取り組む必要がある。

E. 結論

今回のような感染症によるパンデミック状況下において、医療従事者は、正確な情報を患者さんに提供することで、患者さんの不安を解消していく必要がある。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

Nakase, et al. Anxiety and behavioral changes in Japanese patients with inflammatory bowel disease due to COVID-19 pandemic: a national survey. J Gastroenterol. 2023; 58: 205-216.

2. 学会発表

仲瀬裕志 SARS-CoV-2 禍の IBD 診療を総括する-Taskforce からの報告。第 13 回日本炎症性腸疾患学会 2022 年 11 月 26 日

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし